



## 目標 6 すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する

すべての人々がきれいな水を利用できるようにすることは、私たちが暮らしたいと望む世界に欠かせない要素で、地球上にはそれを達成するために十分な淡水があります。しかし、劣悪な経済情勢やインフラの不備により、数百万人が不適切な給水、衛生施設、衛生状態に関連する病気で命を落としています。

水不足や水質の悪化、不適切な衛生施設は、全世界の貧困家庭における食料の安定確保や生活手段の選択、教育機会に悪影響を及ぼしています。現時点で、淡水資源へのアクセス縮小のリスクを抱えて暮らす人々は、20 億人を超えており、2050 年までに少なくとも 4 人に 1 人が、慢性的または反復的な水不足状態にある国に暮らすことになると見られます。特に世界の最貧国の一部を襲っている干ばつは、飢餓と栄養不良を悪化させています。幸いなことに、過去 10 年間には、飲料水源と衛生施設に関する大きな前進が見られており、現在では世界人口の 90%を超える人々が、改良飲料水源を利用できるようになっています。

衛生施設と飲料水へのアクセスを改善するためには、サハラ以南アフリカ、中央アジア、南アジア、東アジア、東南アジアの開発途上数カ国のローカル・レベルで、陸水生態系と衛生施設の管理に対する投資を増額する必要があります。

### 事実と数字

- 世界人口の 10 人に 3 人は、安全に管理された飲料水サービスを利用できず、10 人の 6 人は、安全に管理された衛生施設を利用できません。
- 8 億 9,200 万人以上が、今でも屋外排泄を続けています。
- 敷地内で水が得られない世帯の 80%では、女性と女兒が水汲みの責任を担っています。
- 1990 年から 2015 年にかけて、世界人口のうち改良飲料水源を利用できる人々の割合は、76%から 90%に上昇しました。
- 世界人口の 40%以上は水不足の影響を受け、しかもこの割合は今後、さらに上昇すると予測されています。現時点で 17 億人以上が、水の利用量が涵養分を上回る河川流域に暮らしています。
- 40 億人が、トイレや公衆便所など、基本的な衛生サービスを利用できていません。
- 人間の活動に起因する排水の 80%以上は、まったく汚染除去を受けないまま河川や海に投棄されています。
- 毎日、1,000 人近い子どもが予防可能な水と衛生関連の下痢症で命を落としています。
- 河川や湖沼、帯水層から取り込まれる水の約 70%は、灌漑に用いられています。
- 洪水その他の水関連災害は、自然災害による死者全体の 70%を占めています。

<https://www.un.org/sustainabledevelopment/water-and-sanitation/>

日本語訳・国連広報センター(2018年12月)